

平成26年度 行政評価 施策カルテ

施策名	1 公共交通ネットワークの充実
-----	-----------------

施策主管課	交通政策課	総合計画記載頁	154ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	22 円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する	政策の達成目標 (基本施策目標)	総合的な交通体系の構築により、公共交通や自動車、自転車などのあらゆる交通手段が相互に連携した、円滑で利便性が高く、安全で、ひとや環境にもやさしい、誰もが利用しやすい交通環境がつけられています。
------	----------------------------------	----------------	---------------------------	---------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------

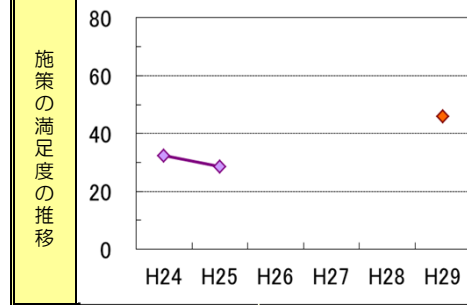
2 施策の取組状況

施策目標	誰もが円滑に移動できる公共交通ネットワークが形成されています。
------	---------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価				
	指標1	年間公共交通利用者数(千人)	単年度目標値	30,720	32,695	34,670	36,645	38,620			40,589	A	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	32.3%	28.6%						
現状値			30,713千人	実績値	31,444	32,093																	
目標値(H29)			40,589千人	単年度の達成度	102.4%	98.2%																	
指標2	一日あたりの利用者数(人)	単年度目標値	84,165	89,575	94,986	100,397	105,808	111,203	A	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)	B												
		現状値	84,145人	実績値	86,147	87,926																	
		目標値(H29)	111,203人	単年度の達成度	102.4%	98.2%																	
指標3	1日当たりの路線バスの利用者数/市民1人あたり(人)	単年度目標値							【参考】中核市等との水準比較	指標名(単位)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	評価						
		現状値																					
		目標値(H29)																					
指標4	ノンステップバスの導入率(%)	単年度目標値							【参考】中核市等との水準比較	指標名(単位)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	評価						
		現状値																					
		目標値(H29)																					

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



※評価の考え方

① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の公共交通の利用者数は、自動車交通への依存や少子化などの影響を受け、減少傾向が続いていたが、近年は特に鉄道利用者数が増加するなど、減少傾向に歯止めがかかった状況となっている。</li> <li>国において、平成25年12月に「交通政策基本法」が制定され、交通の利便性の向上や総合的な交通体系の整備に向けた取組が加速するものと推測される。</li> </ul>
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通の利用者数は減少傾向にあったが、赤字バス路線の維持存続やノンステップバスの導入などに対する支援を継続して実施しながら、公共交通の積極的な利用を促すモビリティ・マネジメント施策などに事業者と連携して取り組むとともに、郊外部の公共交通空白地域において、地域住民と連携した地域内交通の導入を着実に推進してきたことなどにより、平成25年度においても、前年度を上回る利用者数を確保した。</li> </ul>

市民満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス路線の維持存続のための支援や新設社会実験の実施、地域内交通の導入地区の拡大など、誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの充実に努めているところであるが、一方で、高齢化の進行に加え、環境負荷低減や災害に強い交通環境の整備に向けた市民意識の高まりなど、公共交通へのニーズが高度化・多様化しており、市民満足度は前年度と同水準で推移している。</li> </ul>	総合評価	83点
			概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		事業の進捗状況	H25事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	交通戦略の推進	○		市民, 交通事業者, 行政	「宇都宮都市交通戦略推進懇談会」における施策事業の進行管理	計画どおり	96	H21		バス路線新設やJR岡本駅周辺整備等の重点施策事業を推進するとともに、短期的施策事業の実施期間(H24~H26年度)終了に伴う施策事業の見直しを行う。特に、LRTの整備及び関連するバスネットワークの再編やICカードの導入等の中期的施策事業の具体化を図るため、「新交通システム事業化計画」等を踏まえた新短期的施策事業への設定等を見直しを図る。
2	LRTの導入	○★	新交通システム(LRT)の導入	市民, 来街者	市民説明の実施	計画どおり	53,938	H6		LRTの導入に向け、「県央広域都市圏生活行動実態調査」等の調査に取り組みながら、「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」等において事業化に向けた具体的な検討を進め、軌道事業の特許取得に必須となる「地域公共交通総合連携計画」や「軌道運送高度化実施計画」を策定する。 また、引き続き、オープンハウスや出前講座などを実施するとともに、事業の進捗に応じて、パンフレットの新規作成・配布などに取り組むことで、市民理解の更なる促進を図り、LRTの事業化を推進していく。
3	生活バス路線の維持	○★	バス路線の充実	市内で生活バス路線を運行する乗合バス事業者	赤字路線バスに対する補助	計画どおり	39,261	H14		引き続き国・県と協調し赤字バス路線に対する補助を行うとともに、平成25年度に見直した市単独補助制度の効果検証を行い、将来の公共交通ネットワークの構築やバス路線新設社会実験の状況も見極めながら、効果的かつ効率的な支援のあり方を検討する。また、バス事業者と連携した利用促進策について検討していく。
4	ユッピー号運行事業			上河内地域の住民	上河内代替バス「ユッピー号」の運行	計画どおり	27,947	H13		「ユッピー号」については、平成25年度に「上河内地域路線バス」として再構築したところであるが、引き続き、利用実態に即した運行内容の見直しを図るとともに、利用促進策について取り組んでいく。
5	地域内交通運行支援事業	○★	地域内交通の充実	地域住民で組織する運営協議会	地域内交通の初度開設費, 運行経費, 運営経費, 利用促進費に対する補助	計画どおり	42,598	H19	独自性	持続可能な運行や更なる利便性向上に向けて、専門家による運行診断や利用促進策に対する補助制度を効果的に活用し、隣接地区間の連携などによる運行の効率化や利用促進を図っていくとともに、料金体系や目的施設設定の考え方の再整理を行っていく。また、今後とも未導入地区における早期導入に向けた取組支援を行っていく。
6	県央地域公共交通利活用促進協議会			県央地域公共交通利活用促進協議会	協議会活動に要する費用の一部負担	計画どおり	500	H17		協議会委員によるワークショップ及び現地視察を実施し、地域資源等を有効に活用した周遊ルートの設定を行うことにより、広域的な公共交通のPR・利用促進を図る。また、交通に対する自発的な意識・利用変化を促していくため、昨年度新たに実施した学校MMIについて実施校の拡大を図っていく。
7	公共交通利用環境整備促進事業	○	公共交通利用環境整備の促進	市内で生活バス路線を運行する乗合バス事業者及び一般社団法人栃木県バス協会	バスの利用環境整備に対する補助	計画どおり	540	H15		交通事業者や新たに補助対象となった企業、団体との適切な役割分担のもと、バス停上屋・ベンチ・駐輪場等の整備の促進を図っていく。
8	公共交通利用促進事業	○★	バス路線の充実 モビリティ・マネジメント施策の推進	市民	・バス路線新設社会実験の実施(2路線) ・公共交通の環境整備やライフステージの変化等を捉えた利用促進策の実施	計画どおり	45,709	H24		・社会実験実施路線の自主運行への円滑な移行に向けて効果的・効率的な運行計画の改善を図るとともに、社会実験終了後の方向性について検討する。また、新たなバス路線新設社会実験の実施に向けて沿線自治会やバス事業者と調整の上、準備を進める。 ・市民、交通事業者と連携しながら、バス路線新設や転入等の「ライフステージの節目」などを捉えた利用促進策を実施するとともに、広報紙を活用するなど、全市民的な情報発信により利用促進を図っていく。
9	人にやさしいバス導入促進事業		ノンステップバスの導入促進	市内を運行する生活バス路線にノンステップバスを導入する路線バス事業者	ノンステップバス購入費に対する補助	計画以上	19,233	H9		宇都宮都市交通戦略において設定した目標値の達成に向け、引き続き、関係機関と協議調整を行いノンステップバスの導入を支援するとともに、車両を各系統へ効果的に配置・配分することで運行率を高めるなどの取組について働きかけていく。また、新たに対象となった地域内交通へのユニバーサルデザイン車両の導入促進に向け、運行事業者に制度の周知を図るとともに、制度活用の働きかけを行っていく。
10	宇都宮駅西口周辺地区の整備	○	宇都宮駅西口周辺地区整備の推進	市民及び権利者等	地元のまちづくり活動支援等	計画どおり	5,943	H19		都市拠点の形成に向け、高次な都市機能の集積や交通結節機能の強化を図る。 次年度は、「基本計画」の策定に向けた交通基盤施設の検討や、地元まちづくり活動の継続的な支援を行うなど、引き続き地区整備の推進に取り組む。
11	岡本駅周辺整備事業	○★	岡本駅周辺地域整備の推進 交通結節機能の充実	岡本駅周辺, 北東部地域住民	岡本駅橋上駅舎や駅前広場等の整備事業の推進	計画どおり	67,908	H21		北東部地域の地域拠点として、交通結節機能の強化及び交通アクセスの向上などを図る。 次年度は、岡本駅西口土地区画整理事業の進捗と整合を図るとともに、JR東日本など関係機関等との協議・調整を行いながら、駅周辺の利便性向上や居住環境の充実、良好な駅前景観の創出に向け、施設整備を進める。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆LRTの導入については、「地域公共交通総合連携計画」等の策定に向けて、需要予測の精査や施設整備計画などの具体的な検討、営業主体の確保などを着実に進める必要がある。また、様々な機会を通じて、わかりやすい丁寧な市民説明に取り組み、事業化に向けた市民理解の促進に取り組む必要がある。</li> <li>◆バス路線の充実については、赤字バス路線や新設社会実験路線に対する、より効果的、効率的な支援策を引き続き検討していくとともに、利用促進に向けた環境整備を推進していく必要がある。</li> <li>◆地域内交通の充実については、郊外部の未導入地区における早期導入や既導入地区における持続可能な運行に向けた運行の効率化、利用促進に取り組んでいくとともに、市街地部の移動手段の確保についても検討していく必要がある。</li> <li>◆JR宇都宮駅西口及び岡本駅周辺の整備については、円滑な事業推進を図るため、関係機関とのさらなる連携や関係権利者との合意形成、民間事業者の参画意向等を把握する必要がある。</li> </ul>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉            ◆円滑で利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けて、交通事業者をはじめとする関係機関と連携しながら、LRTの導入を推進するとともに、交通事業者や地域住民に対する効果的、効率的な支援を行いながら、さらなるバス路線の新設や拡充、地域内交通の充実を図っていく。</p> <p>〈主要事業〉            ◆LRTの導入            「県央広域都市圏生活行動実態調査」等の調査に取り組みながら、「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」等において、事業化に向けた具体的な検討を進める。また、引き続き、オープンハウスや出前講座などの開催を図るとともに、事業の進捗に応じて、パンフレットの新規作成・配布に取り組み、市民理解の促進に努める。</p> <p>◆バス路線の充実            国や県の補助制度の動向や平成25年度に見直した市単独補助制度の効果検証を踏まえながら、赤字バス路線の維持存続に向けたより効果的、効率的な支援策を検討していくとともに、交通事業者や団体等との適切な役割分担のもと、バス停上屋・ベンチ等の整備の促進を図る。また、バス路線新設社会実験について、沿線自治会等と連携した利用促進や運行計画の検討・改善などを行い、バス事業者による自主運行への移行を図る。</p> <p>◆地域内交通の充実            郊外部の未導入地区において、地域住民と協議調整を行いながら、早期導入に向けた取組を積極的に支援していくとともに、利用者が減少傾向にある地区や収支率の改善が必要な既導入地区において、専門家による運行診断や利用促進策の実施に対する補助制度を効果的に活用していく。また、市街地部においても地域実情に応じた移動手段のあり方について検討していく。</p> <p>◆JR宇都宮駅西口及び岡本駅周辺の整備            JR宇都宮駅西口について、社会経済情勢の変化や民間事業者の動向を踏まえ、参画意向などを十分に調査するほか、LRTなど関連事業の検討状況を踏まえながら、事業化を推進し、都市拠点の形成を図る。また、JR岡本駅について、岡本駅西口土地区画整理事業の進捗と整合を図るとともに、JR東日本など関係機関との協議・調整を行いながら、駅周辺の利便性向上や居住環境の充実、良好な駅前景観の創出などを図り、北東部地域の地域拠点の形成を進める。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>